

第26回JSPP教育セミナー

こどもの居場所としてのバーチャルリアリティー

～ゲーム、SNS、アバター、ロボット、AIはこども臨床をどうかえるのか？

日本小児精神医学研究会(JSPP)主催の初心者でも学べる医師・医学生向けのセミナーです。

企画趣旨:われわれこどもの治療者は、こどもからするといつの世も時代遅れの年長者でしたが、2000年ごろから始まったICT化社会においては、ICTの変化を知らないことは、こども臨床を行う上で、より大きなハンディキャップになります。

このセミナーでは、ICTがこどもに与える影響のうちで、ネガティブな側面とポジティブな側面の両方に光を当て、明日からの臨床に役立つ知見をお持ち帰りいただきたいと、考えています。今回はこの分野に精通したJSPP外部の講師をお招きし、大変充実した構成となっております。

日時 2025年8月30日(土)13時～18時すぎ、31日(日)9時～15時30分

会場 30日(土) ツイン21MIDタワー会議室8 (JR京橋駅より徒歩8分)
31日(日) さくらホール大阪市立総合医療センター内
(Osaka Metro都島駅徒歩2分)

定員 先着100名

料金 医師 14000円 医学生 7000円

申し込み 医師・医学生ならどなたでもご参加いただけます。以下のURLからどうぞ。
<https://amarys-jtb.jp/jspp26/> 7月1日正午から8月18日まで(懇親会7月28日まで)

懇親会 8月30日19時から、会場から徒歩15分の「TERRE-a-S(テラス)」で行います。
先着40名限定です。会費 医師7000円 医学生 無料

ゲスト講師	関正樹 先生 大湫病院 嶋根卓也 先生 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部 心理社会研究室長 熊崎博一 先生 長崎大学精神科神経科教授
JSPP内部講師	鈴木太 上林記念病院こども発達センターあおむし センター長 吉川徹 愛知県西三河福祉相談センター 児童専門監 大石聡 静岡県立こども病院 こころの診療部こころの診療科 星野崇啓 さいたま子どものこころクリニック

お問い合わせはメールで

nnkinos45-jsppseminar@yahoo.co.jp
JSPP教育セミナー事務局
木下直俊

開催スケジュール

8月30日土曜日 ツイン21MIDタワー会議室8

13:00 開会のあいさつ

13:05-14:25 児童青年期における行動嗜癖のアセスメントと治療

鈴木太（上林記念病院こども発達センターあおむし センター長）

14:40-15:50 デジタルリテラシーとデジタルディバイド

吉川徹（愛知県西三河福祉相談センター 児童専門監）

16:05-18:05 症例検討会「発達障害を背景にゲームへの執着から行動化し入院治療を行った小学生男子の症例」

症例提示者：梶原美郷先生（大阪精神医療センター）

司会：平山優美（埼玉県立小児医療センター）

コメンテーター：大石聡（静岡県立こども病院 こころの診療部こころの診療科）

星野崇啓（さいたま子どものこころクリニック）

19:00-21:00 懇親会 **TERRE-a-S(テラス)** 大阪市都島区東野田町1-3-12

8月31日日曜日 さくらホール

（大阪市立総合医療センター内）

9:00-10:40 ゲームやSNSにおける子どもたちの居場所

関正樹先生（大湫病院）

10:55-12:05 市販薬のオーバードーズに対する理解と支援

-こどもたちはSNSを通じて何を見ているのか

嶋根卓也先生

（国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所薬物依存研究部 心理社会研究室長）

12:55-13:55 デジタル技術はどの部分が臨床の役に立ち、

今後どのように発展して行くのか？

熊崎博一先生（長崎大学精神科神経科教授）

14:10-15:15 シンポジウム

シンポジスト：関正樹先生・嶋根卓也先生・熊崎博一先生・鈴木太・大石聡・星野崇啓

司会：吉川徹

15:15-15:20 閉会あいさつ

JSPP教育セミナー事務局

木下直俊（兵庫県中央こども家庭センター ひょうごこころの医療センター）

花房昌美（大阪精神医療センター）

宮脇大（大阪市立総合医療センター）

主催：JSPP 日本小児精神医学研究会

Japanese Society for Pediatric Psychiatry